

# 「Yahoo!防災速報」アプリ、ユーザー同士で災害状況を共有し、危険をいち早く確認するための新機能「災害マップ」を提供開始

～ ユーザーが投稿する災害状況を確認することで、迅速な避難行動の判断材料に ～

[「災害マップ」機能追加のお知らせ](#)

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供するスマートフォン向け防災通知アプリ「Yahoo!防災速報」（iOS版、Android版）は本日、ユーザー同士で現在地の状況を共有することで、迅速な避難行動に繋がられる新機能「災害マップ」の提供を開始しました。（※1）



「災害マップ」は、ユーザー自身が現在地の状況を投稿でき、現在提供している自治体や気象庁から発信される情報だけではなく、他の周辺ユーザーの投稿を地図上で確認できます。また、現在地やユーザーが設定した地域の周辺で、災害状況についての投稿が一定数を超過、所定の条件を満たした際に、異常を知らせるプッシュ通知が届く機能をあわせて追加しました。

利用者数1700万（※2）を突破した「Yahoo!防災速報」アプリはこれまで、台風や豪雨などの災害が発生した際に、避難情報や気象警報、「大雨危険度通知」（※3）といった緊急情報をプッシュ通知で伝えることで、ユーザーの避難判断の支援をしてまいりました。さらに本機能を活用することで、早期に災害の状況を知り、避難判断に役立てられます。

「Yahoo!防災速報」は、ユーザーが日頃から災害に備えられるよう機能追加や改善に努め、安全安心な暮らしに貢献してまいります。

※1：本機能は、本日から約1カ月の期間限定の提供です。機能提供期間中の利用状況をもとに、順次機能追加をします。

※2：2019年10月11日時点

※3：ヤフー、気象庁と連携して、市区町村ごとの土砂災害や洪水の危険度と、とるべき行動を伝える機能「大雨危険度通知」を開始（2019/07/10）

### ■「災害マップ」の機能について

#### ・災害状況を知らせる投稿が所定の条件を満たした際に、プッシュ通知が届く「異常感知通知」機能

ユーザーの所在地や設定した地域の周辺で、災害状況に関するユーザー投稿数などが、所定の条件のもと異常が発生していると判定された場合に、プッシュ通知が届きます。これにより、災害が発生する数時間前からどんな危険が迫っているかを確認でき、比較的余裕を持って避難の判断ができます。



災害状況に関するユーザー投稿数が所定の条件を満たすとプッシュ通知が届く



通知を開き、「周辺の災害状況を確認する」ボタンから確認可能

#### ・ユーザーからの災害状況報告を地図で確認できる機能

通知詳細画面やアプリトップ画面から、地図上でユーザーによる災害状況の報告を確認できます。土砂災害や河川洪水の危険情報もあわせて確認できるため、周辺地域の状況をひと目で把握できます。



「周辺の災害状況を確認する」ボタンから地図を開くことができる

周辺地域の危険度やユーザーの投稿がひと目でわかる

ユーザー投稿の詳細も見ることができる

#### ・現在地の状況を他のユーザーに知らせる投稿機能

「異常感知通知」から遷移した地図画面上や、避難情報、大雨危険度の通知画面に表示される投稿ボタンから、現在地の災害状況やライフライン状況を選択・投稿し、他のユーザーに共有できます。（※4）

※4：1つの通知に対して投稿できるのは3時間以内に1度のみです。また、現地の状況を共有し

ていただくことを目的としているため、現在地への通知を受け取った場合のみ投稿ができます。



「状況を投稿」ボタンをタップ

現在地の発災状況が投稿できる

## ■ 「Yahoo!防災速報」について

「Yahoo!防災速報」は、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報など、ユーザーの安全に役立つ情報を配信するサービスです。また、日頃から災害に備えるため、防災関連情報をまとめた「防災手帳」機能も搭載しています。